

1年生学年だよ

平成 28 (2016)年 9 月吉日
第 26 号
吹田市立第二中学校第一学年

合唱を頑張る前に。

いよいよ人権文化祭に向けての取り組みがスタートしました。『共生』という学年のテーマも決まり、みんなで気持ちを 1 つにして合唱をするということも決まっています。

今までにみなさんは合唱というものを何回も経験していると思います。幼稚園や



保育園から始まり、小学校での入学式や卒業式などいろいろな場面で合唱に取り組んできたのではないのでしょうか。

何事にも言えることなのですが、何かを成功させるためには必ず

見えない場所で努力をしてくれている人の存在が必要です。合唱

の場合は、間違いなくピアノ伴奏者がこの「**見えない努力家**」にあたります。みなさんは歌う曲が決まった段階で、リズムを覚え、歌詞を覚え、音階を覚えていくと思います。ピアノ伴奏者は、まず楽譜をもらいそれを覚え、何回も弾くことで自分なりの色を出していきます。

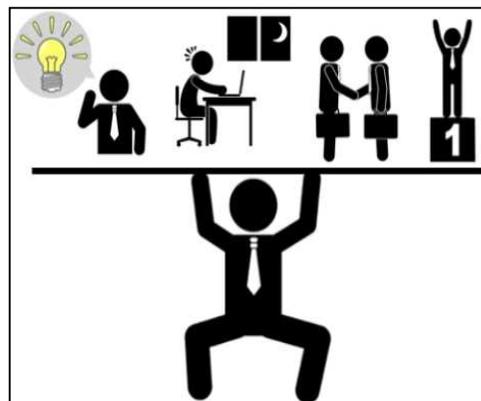
実はこのピアノの楽譜は、みんなが曲を教えてもらうよりも前に伴奏者に渡されているのです。つまり、みんなが歌に取り組み始めるよりももっと前から練習をスタートしています。夏休みにみんながクラブに打ち込んでいる間に、友達と遊んでいる間に、宿題を進めている間に、みんなのためにピアノの練習を頑張ってくれているのです。ピアノなくしては素晴らしい合唱は作れません。だから、合唱をするときは**伴奏者への感謝の気持ちを込めて**声を出してください。気持ちが 1 つになった合唱は人を感動させる力を持ちます。



全体での合唱練習が始まるくらいのタイミングで出そうと思っています。
ご意見をお願いします。

えん縁の下の力持ち。

今読んでもらったピアノの伴奏者のような、「見えない努力家」を表すステキな言葉が日本語にはあります。それは「**えん縁の下の力持ち**」です。どういう意味かという



るために頑張ってくれている人がいるのです。たとえば、将来のために勉強しようと思ひ頑張っている人がいるとします。夜遅くまで机に向かっています。もし電気がなければ夜の暗い時間には勉強なんてできません。電気を作ってくれている人のことなんて普段は意識しませんが、その人たちがいなければ夜に勉強というのはできないこ

とです。同じようなことがこの世界にはたくさんあります。私たちが手を洗うために水道の蛇口じゃくちをひねると水が出るのも、水をキレイに管理してくれている人がいるからです。みなさんが「**当たり前**」と思っていることは**当たり前**ではないのです。

この「**えん縁の下の力持ち**」の存在を忘れると、何もかも自分だけの力でやり切ったという勘違いをしてしまいがちです。みなさんは**当たり前のことに感謝**できていますか？**自分だけで何でもできると**思っていますか？

人権文化祭の 1 年生のテーマをもう 1 度確認しておきます。『共生』つまり、『**ともに生きる**』です。見えないところで頑張ってくれている人への感謝なくして、共生というものは実現しません。

このテーマをそれぞれが心にとめ、忘れずに取り組んでいきましょう。